

# 貿易プラットフォーム利活用推進に向けた意見交換会



## 未来へつながろう。

私たちはチャイナプラスワンとして、カンボジア、ベトナム、タイを拠点化して、アセアンでのネットワーク拡充に取り組んでまいりました。これからはそのネットワークを西へ広げインドで拠点を設立し、さらには未来市場のアフリカを開拓して、物流をととお客さまや社会、世界中の人びととつながります。

新興市場と未来を結ぶ大森廻漕店にご期待ください。

—— 総合国際物流のオルガナイザー ——

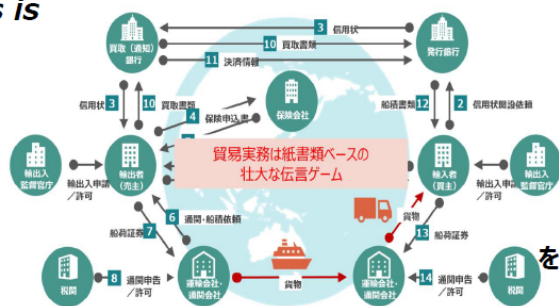


株式  
会社

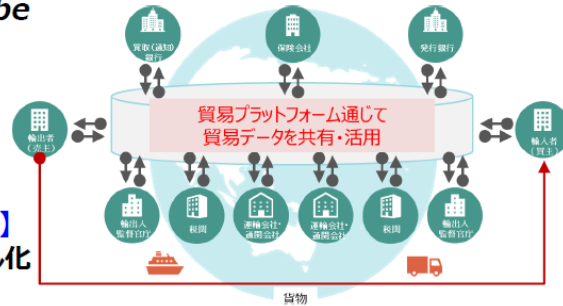
大森廻漕店

2025年1月21日

As is



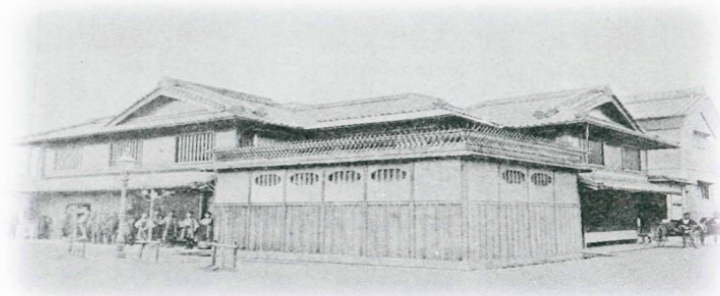
To be



【貿易プラットフォーム】  
を通じた貿易手続デジタル化

【経済産業省説明資料より抜粋】

# 会社概要



- 創 業 明治6年（1873年）
- 資本金 4億円
- 本支店 本社（神戸）／京浜支店／名古屋支店／ 阪神支店／阪神港運支店
- 国内倉庫 大井営業所／第2稲永埠頭2号上屋／南港Q2営業所／摩耶埠頭営業所／PI L-7営業所
- 国内物流センター 六甲物流センター／空見物流センター
- 海外拠点 永得利大森貨運有限公司香港事務所／大森回漕国際物流（上海）有限公司  
／大森回漕国際物流（上海）有限公司青島分公司／Ever Gain & Omori  
（Thailand） Co.,Ltd.／Omori Kaisoten Vietnam Co.,Ltd.（Ha Noi Branch）  
／Omori Kaisoten Logistics（Cambodia） Co.,Ltd.／Omori India      ほか
- 主な事業 総合国際物流業  
一般港湾運送業【国土交通省】      ／      港湾荷役業【国土交通省】  
倉庫業      【国土交通省】      ／      通関業      【財務省】      ほか  
貨物利用運送業【国土交通省】



## ①貿易手続のデジタル化に係る当社の現状・取組

- ・貿易手続のデジタル化の現状 ⇒ 自社システム、NACCS等に対して、RPA、OCRを活用し、効率化がアップ
- ・貿易手続のデジタル化に係る取組 ⇒ 有料版のMicrosoftCopilotを試験的に導入し、更なる効率化の可能性を検証中

## ②貿易手続のデジタル化や貿易プラットフォームの利活用に向けた課題・要望

- ・それぞれのプラットフォームを連携しようとしているものの各分野の企業がそれぞれに参加できる状態であり、フォワーダーがそれぞれに接続する必要があるとなると、フォーマット違いも考えられ、構築費が増大する。  
また第7次Naccs更改のように、大規模な変更がある場合、それぞれの接続ツールを大幅に変更しないといけない可能性がある。
- ・データに変更が生じた場合、それぞれのプラットフォームに自動的に反映されるのか？  
リアルタイムに反映することが必要。
- ・仕様変更になった場合、各プラットフォームの責任範疇等に課題。
- ・フォワーダーが、TradeWaltz、CyberPort、Naccsなどに参加した場合、重複した利用料が発生する。



### ③貿易プラットフォームの利活用推進に向けた検討会における荷主の意見に対する見解

- S/I、I/I、I/V、P/L等、物流手続きに必要なデータを貿易プラットフォームから、構造化データとして、各社統一されたコード体系で入手できれば、フォワーダーとしては、大きな削減効果が見込まれる。

### ④その他（貿易プラットフォームの利活用に関して①～③以外で何かあれば）

- 官民等、関係各社が一体となった、国としてのプロジェクトチームを構成して進めるべきである。

（全てのシステムを統合化し、共通のプラットフォームとし、共通のプラットフォーム上でデータ入力窓口を一本化することが重要）

